

令和4年度事業報告

社会福祉法人琴平町社会福祉協議会

目 次

事業総括	P1
I、法人運営	P2～P5
1, 会員の状況	P2
2, 理事会の開催、監事による監査	P2
3, 評議員会の開催	P2～3
4, 組織及び事務局運営	P3～P4
5, 事業打合せ研修	P4
6, 実践報告	P5
7, 視察来所	P5
8, 広報・啓発活動	P5
II、地域共生社会における地域福祉の推進	P5～P23
1, 地域福祉推進に向けた包括的推進体制の構築	P5～P19
2, 福祉教育ボランティア学習	P19～P20
3, 各行事の開催	P20～P21
4, 関係機関・団体との連携と協力	P21
5, 相談支援・権利擁護	P21～P23
III、介護・生活支援サービス	P23～P29
1, 在宅福祉サービス及び生活支援サービス事業	P23～P26
2, 介護・障害福祉サービス	P26～P29
IV、共同募金運動	P29～P32
V、収益事業	P32
1, 特産品活用事業	P32
VI、公益事業	P32～P33
1, 地域生活総合支援サービス	P32～P33
2, まちのキッチン「もぐもぐ」の運営	P33

事業総括

地域共生社会の実現に向けて、地域住民が地域の課題と真剣に向き合い、我がごとのように考え、動けるように地区担当職員が中心となり、各地区ネット活動が動き出した。また、新型コロナウイルスの影響により、ふれあいデーやチャリティー作品即売店等今までできなかったことができた年となった。各地区ネット活動では、長い間、協議をしてきて歩みを止めないように役員を中心に各地区で協議を続け、それぞれの地区で今までできなかったことを、工夫をして行えた。その中でも、榎井地区では、榎井小学校全面協力のもと榎の木フェスタを全児童の参加で開催できた。さらにこんびら朝市では、実行委員会でも度々協議し、その成果として出店者が増加した。また、介護保険制度だけでは支えきれない部分を、住民参加型在宅福祉サービス「ささえ愛隊」の住民によるサービスで支えあいができるように、地域包括支援センターと連携し養成講座を行ったり、声掛けにより少しずつだが、隊員の数が増加したのは大きな成果だ。

新型コロナウイルスの影響によって、働く場を失い、働きたくても働けない等様々な理由により働くことに一步を踏み出せない方を対象に、ガアリック娘を作る工程から出る副産物を利用したフライドガーリック作業が立ち上がった。その作業には、職員の声掛けにより5名が従事している。また、食糧支援として、社会福祉法人施設の協力により、フードバンクへの寄付があり、生活困窮者支援として80件ほど必要な方に渡した。

最後に、大規模災害によって社協機能が失われないように感染症BCPの策定、災害BCPを策定した。感染症BCPでは、実践の中での気づきから改正が必要であるとともに、災害BCPでは、災害を想定した訓練を5年度で行っていききたい。

この一年間の動きは大変重要であり、住民と共に地域づくりに励んできた一年であった。地区担当職員が地域に出向き、そこから相談につながり、支援が必要な方につながっていくことによって、安心して暮らせることにつながる。住民と共に、今後も地域づくりに励んでいきたい。

令和4年度重点目標

①包括的支援体制構築、地区担当制と局内の連携の推進

重層的支援体制整備事業を町から受託し、地区担当を中心に地域づくり及び相談対応を行ってきた。地域づくりでは、地区ネットを中心にコロナ禍でなかなか活動ができていなかったところが、できるようになった。地区担当を中心に相談支援を行いながらチームで対応を意識した。

②新型コロナウイルス感染症による要支援者対応、生活困窮者及び社会的孤立者対応

気になる世帯のところへは声かけを行いながら、生活困窮者自立相談支援に繋げたり、相談を通して中間就労の場に繋げていった。また、社会福祉法法人施設からフードバンクへ寄付があった。

③災害及び感染症対応体制の推進

感染症BCPを策定し、これに基づき業務を行ってきたが、実践の中から気づいたことで改正が必要である。また、災害BCPも一年かけて委員会を結成し策定してきた。

I、法人運営

1、会員の状況

種別		会員数	金額（円）	前年度比（円）
一般会員	世帯	2135	1,067,500	△23,000
賛助会員	個人	132	344,000	△39,000
特別会員	事業所等	66	703,000	△37,000
総 数			2,114,500	△99,000

2、理事会の開催、監事による監査の実施

令和4年5月26日	監 査	地域福祉ステーション
令和3年度事業及び会計監査		
令和4年6月6日	第1回理事会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和3年度琴平町社会福祉協議会事業報告書（案）について		
議案第2号 令和3年度琴平町社会福祉協議会収支決算書（案）について		
議案第3号 監査報告について		
議案第4号 令和4年度 第157回評議員会の招集について		
令和4年8月18日	第2回理事会	書面決議
議案第1号 理事候補者の提案について		
議案第2号 令和4年度第158回評議員会の招集について		
令和4年11月28日	第3回理事会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和4年度琴平町社会福祉協議会会計（第1回）補正予算（案）について		
議案第2号 令和4年度 第159回評議員会の招集について		
令和5年3月10日	第4回理事会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和4年度琴平町社会福祉協議会会計（第2回）補正予算（案）について		
議案第2号 令和5年度琴平町社会福祉協議会事業計画（案）について		
議案第3号 令和5年度琴平町社会福祉協議会収支予算（案）について		
議案第4号 令和4年度 第160回評議員会の招集について		

○役員協議会の開催

開催日：7月20日

内 容：今後の社協の事業活動・運営（経営）について

3、評議員会の開催

令和4年6月23日	第157回評議員会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和3年度琴平町社会福祉協議会事業報告書（案）について		
議案第2号 令和3年度琴平町社会福祉協議会収支決算書（案）について		
議案第3号 監査報告について		
令和4年8月25日	第158回評議員会	書面決議
議案第1号 理事の選任について		

令和4年12月7日	第159回評議員会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和4年度琴平町社会福祉協議会会計(第1回)補正予算(案)について		
令和5年3月24日	第160回評議員会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和4年度琴平町社会福祉協議会会計(第2回)補正予算(案)について		
議案第2号 令和5年度琴平町社会福祉協議会事業計画(案)について		
議案第3号 令和5年度琴平町社会福祉協議会収支予算(案)について		

4. 組織及び事務局運営

①職員会の定例開催及び朝礼の実施

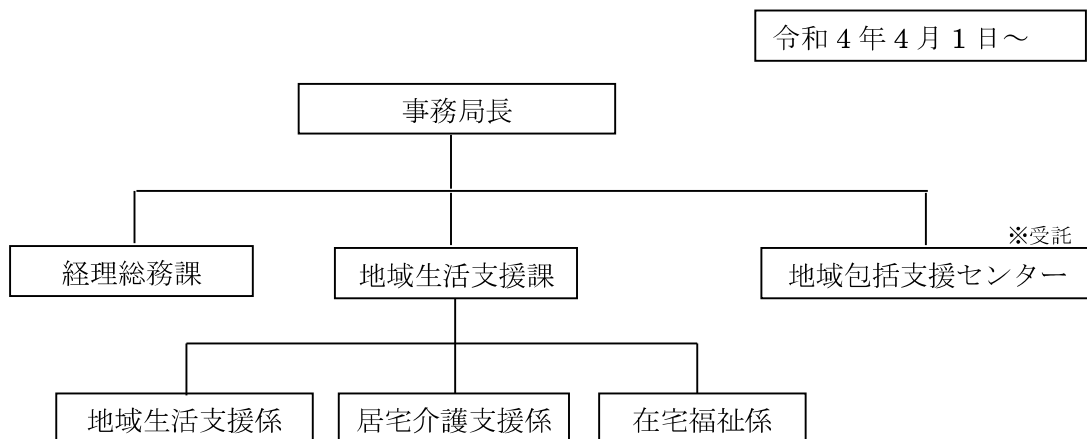
※朝礼は毎日8時30分から実施。一日の業務日程を各職員から報告。

②職員体制

職員	人数	取得資格の状況
正規職員	18名	・社会福祉士 8名 ・調理師 1名 ・介護福祉士 12名 ・ホームヘルパー 5名
非正規職員	10名	・介護支援専門員 10名 ・准看護師 3名 (内主任ケアマネ 4名) ・認知症ケア専門士 1名
登録ヘルパー	10名	・精神保健福祉士 2名 ・栄養士 1名 ・社会福祉主事 5名 ・保育士 1名 ・歯科衛生士 1名 ・保健師 2名 ・看護師 2名 ・手話奉仕員 2名

(令和5年3月31日現在)

③事務局体制



④福祉ことひら 年3回発行 職員が輪番制で発行

⑤社協強化発展計画の遂行

ア、会長・事務局長・次長による定期協議

・組織運営について及び事業について

イ、管理職会議の毎月の開催

・各係から進捗状況の報告

・情報共有

ウ、地域福祉推進実務者会議の開催 4回開催（偶数月）

地域共生社会の実現に向けて、社協・包括の動きの伝達、課題に対して情報共有している。

・参加者 住民福祉課 主幹、主任
社協 会長、局長、次長、課長補佐、係長
包括 主任

エ、敷地内清掃の実施 毎週火曜日 17時～17時15分

5. 事業打合せ及び研修

<法人の為の研修>

日付	内容	開催場所
5/12	令和4年度社協職員基礎研修	県社協
6/8	令和4年度香川県子どもの未来支援ネットワーク事業 全体研修会	高松市
7/28,29 10/12,13	令和4年度CSW養成講座	県社協
8/3	福祉教育推進員研修	県社協
10/4	ニーズ対応型社協説明会	高松市
12/6	生活支援コーディネーター研修会	高松市
12/7～10	令和4年度市町村社協管理職研修	神奈川県
1/20	香川県県内社協実践研究大会	県社協
2/8	社会福祉法人連携協働セミナー	県社協

<県内社協事務局長関連>

日付	内容	開催場所
5/23	令和4年度第1回県内社協連絡協議会	県社協
12/15、2/21	県内社協常務理事・事務局長会議	県社協

<地域福祉推進委員会関連>

日付	内容	開催場所
4/25、6/17、9/22 2/1	県内社協地域福祉推進委員会企画委員会	県社協

<災害関連>

日付	内容	開催場所
7/4	令和4年度社会福祉協議会における事業継続計画を考える研修会	県社協
9/10	令和4年度赤十字世界救急法の日記念イベント	県社協
1/24	災害ボランティア三者協議	高松市
2/16	日赤研修会	

6, 実践報告

期 日	派遣先	研修名
1/13	高知市	四国ブロック市町村社協研究協議会

7, 視察来所

期 日	団体名	内 容
9/28	中富良野町議会	ガリック娘について
10/31	岸和田市社協	ガリック娘について
11/7	東かがわ市社協	福祉委員活動について

8, 広報・啓発活動

①回覧

- ・事務局通信シャントセナの発行

毎月発行して、事務局から報告、予定、動向をまとめ発行している。

- ・福祉ことひらの発行

年3回の発行。住民参加の広報紙としての位置づけをし、地区の活動等を掲載。

②ホームページの運用

③SNSによる発信

こんぴら朝市、共同募金の SNS を作成し、情報を発信している。

II、地域共生社会における地域福祉の推進

今年度も新型コロナウイルスの影響により、予定していた活動ができなくなってしまうことがどこの地区にも出た。しかし、できないのではなく、工夫をして新たに計画し、実践していくという地域の強さが見れたことは、住民が自分たちの地域を変えたいという強い思いの表れだと思う。また、地道な活動から、住民の気づきから個別支援に至ったケースもあり、着実に住民と職員の顔の見える、知る関係は構築されてきている。

1, 地域福祉推進による包括的な支援体制の構築

(1) 地域福祉推進体制

①福祉委員活動

i フードバンクへの協力

フードバンクとなる食料品を声掛け等によって集めた。

ii 見守り・声掛け活動

新型コロナウイルスの影響によって、引きこもりがちになっている高齢者を中心に気に留めて、何かあれば社協に連絡をしてもらうよう周知を行った。

②地域福祉懇談会

1月から3月にかけて行う予定だったが、蔓延防止措置が発令され、今年度は中止となった。

③民生委員児童委員との個別協議の実施

民生委員児童委員協議会会長から、民協と社協は両輪でなければならないという趣旨から一人ひとりの民生委員と地区担当職員との懇談を行った。

i 民生委員児童委員数：31名

ii 参加者：地区担当職員、住民福祉課（町）

iii 内容：独居高齢者や気になる世帯に対しての情報共有

iv 成果：民生委員児童委員が持っている情報をもとに、地区担当職員による訪問を行うことができ、継続的な支援につながった。また、社協からの情報をもとに、民生委員児童委員が見守りをしてくれるようになり、お互い情報交換をしている。

④各地区ネット活動の活性化

i 各地区ネット活動（各地区地域福祉推進連絡会）

<琴平地区>

名称 こんびらアイネット

場所：琴平町地域福祉ステーション研修室

開催日	協議内容	参加者数
5月26日	にんにくフェスタ振り返り	10名
6月24日	防災キッチンカーについて	12名
7月25日	防災キッチンカーについて	10名
8月19日	キッチンカー販売商品について	13名
9月16日	キッチンカーイベントについて	13名
10月21日	年末年始の朝市について・にんにくフェスタについて	12名
11月25日	にんにくフェスタについて・共募助成金について	7名
12月23日	にんにくフェスタについて	11名
1月20日	にんにくフェスタ進捗状況について	12名
2月24日	mobiについて・にんにくフェスタ進捗状況	14名
3月24日	mobiについて・朝市委託販売について	16名

考察：11月開催予定で琴平のまちに賑わいをつくってほしいと、防災キッチンカーの協力を得て、企画を考えていたところ、参加メンバーもほとんど変わらないこともあって、こんびら朝市実行委員会とこんびらアイネットが合同で行われるようになった。

ア、こんびらにんにくフェスタ

開催日：令和4年4月10日

内容：料理コンテスト表彰式、料理レシピ紹介、コスモスの家、段ボールベッド、仲多度南部消防本部によるAED講習、琴平婦人会による炊き出し、救急車・ポンプ車の展示棟

<榎井地区>

名 称：榎井ハッピーネット

場 所：琴平町地域福祉ステーション、総合センター

開催日	協議内容	参加者数
4月4日	役員会	3名
4月22日	榎の木フェスタについての話し合い	13名
5月10日	榎の木フェスタについての話し合い	15名
5月31日	榎の木フェスタについての話し合い	17名
6月5日	第7回榎の木フェスタの開催	200名 以上
7月5日	榎の木フェスタについて反省会	10名
11月22日	榎井ハッピーネットについて 今後の打合せ	13名
12月20日	地区ネットの役割、榎井地区について考えよう ・自治会長、福祉委員の参加	30名
1月24日	第2回地区ネットの役割、榎井地区について考えよう ・自治会長、福祉委員の参加	30名
2月21日	榎の木フェスタ実行委員会	9名
3月14日	榎の木フェスタ実行委員会	10名

考察：6月には3年ぶりとなる榎の木フェスタを開催した。榎井小学校の協力の下、授業参観後の開催で、児童及び保護者の参加が得られた。土石流シアター・降雨体験・災害マップの作成を中心に防災に関する内容で行った。地域の方も多数ボランティアとして参加していただき、子どもとの交流が図れた。

また、榎井ハッピーネットと榎の木フェスタ実行委員会の役割を整理し、改めて地区ネットについて考える機会を持った。結果、自治会長にも参加してもらい、地区の課題を考える榎井ハッピーネットの会を持った。その後、来年度の榎の木フェスタに向け、実行委員会を開催した。今後、地区について考える榎井ハッピーネットと榎の木フェスタ実行委員会が相互にリンクしあいながら、よりよい地域活動を展開していきたいと考える。

○第7回榎の木フェスタの開催

開催日時：令和4年6月5日（日）

開催場所：榎井小学校

内 容：降雨体験、土石流3Dシアター、防災マップづくり等

参加者数：約200名

<五條地区>

名 称：五條互助ネット

場 所：仲多度南部消防本部消防組合

開催日	協議内容	参加者数
4月18日	役員会	4名
6月1日	役員 香川県歴史民俗資料館見学	3名
7月7日	五條互助ネットの説明 つながりタオルの説明及び配布	23名
11月24日	講演 講師：香川県文化振興課 芳澤直起氏 「香川の震災と満濃池決壊～人々はその時どのように行動したのか～」	16名
3月9日	・前回講演の内容を踏まえてグループ討議 ・町としての防災への取り組み	25名

考察：今年度も防災訓練はできなかったが、昨年度から協議してきた「つながりタオル」を配布し、ちょっとした困りごとを住民どうしで助け合うことができる取り組みを始めた。振り返りを行いながらこの仕組みが回るようにしていければと思う。さらに、満濃池が決壊した時のことを県から講師を呼び、説明してくれた。防災意識の向上を今後も進めていきたい。

<象郷地区>

名 称：楽集館あつたかネット

場 所：楽集館

開催日	協議内容	参加者数
5月18日	今年度の活動について	8名
7月21日	日赤の防災セミナー、ふれあい交流会について	8名
9月8日	日赤の防災セミナー、ふれあい交流会について	9名
10月28日	日赤防災セミナーの開催（総合センター） ふれあい交流会の打合せ	34名
11月5日	楽集館ふれあい交流会の開催	38名
12月22日	ふれあい交流会の反省	10名
R5.3月2日	来年度の計画案、黄色いハンカチ運動について	8名

考察：ふれあい交流会が開催でき、無事終了できてよかった。コロナ禍で例年に比べて参加者が少なかったので、対象者などを今後考慮しながら多くの象郷地区の住民の方に参加してもらえるようにしていければと思う。

○楽集館ふれあい交流会の開催

開催日：11月5日（土）

場 所：楽集館

内 容：焼き芋、子どもが楽しめるゲーム（玉入れ等）

参加者：38名

⑤「ささえ愛こんぴら」の推進

生活支援コーディネータを中心に琴平町全域における、地域ニーズからの対策・支援を考え、サービスの企画実施を行う。

i ささえ愛こんぴらの開催

回	開催日	内 容	参加者数
役員会	1月23日	①協議事項 ・開催日について ・協議内容について ②ささえ愛隊について ③訪問型サービスBについて	3名
第25回	2月24日	①ささえ愛こんぴら説明 ②各地区ネット報告 ③協議 住民参加型在宅福祉サービス「ささえ愛隊」について ④その他 ・こんぴら朝市 ・買い物号	14名

ii こんぴら朝市実行委員会への参画・協力

実行委員会：琴平町、琴平町観光協会、琴平町商工会、ささえ愛こんぴら、こんぴらアイネット

目 的：町内の様々な関係機関と連携し、買い物支援として朝市を開催することを目的とする。

事務局：琴平町社会福祉協議会

場 所：琴平町地域福祉ステーション研修室

月日	内 容
5月27日	にんにくフェスタ振り返りと今後について
6月24日	募集要項変更、新店舗契約内容について、試食へのあり方協議
7月25日	これ以降こんぴらアイネットと合同で開催

<こんぴら朝市> 場所 一之橋公園

開催日	店舗数	開催日	店舗数	開催日	店舗数	開催日	店舗数
4/10	7	7/10	5	11/13	10	2/12	6
4/24	7	7/24	9	11/27	5	2/26	7
5/8	9	8/28	8	12/11	7	3/12	6
5/22	8	9/11	9	12/25	6	3/26	6
6/12	8	9/25	11	1/8	7		
6/26	9	10/9	10	1/22	7		

iii 買い物号の運行

買い物に必要な方を対象に運行

毎週月・木 10時～12時（おおむね）

<実施状況>

月	運行日数	延利用者数
4月	7日	29名
5月	9日	34名
6月	9日	25名
7月	8日	10名
8月	9日	32名
9月	8日	28名
10月	9日	52名
11月	8日	45名
12月	8日	50名
R5.1月	8日	53名
2月	8日	59名
3月	9日	48名

iv 買い物支援（マルナカとの連携）

高齢者がマルナカに買い物に来て、荷物を帰りに持ち帰れない方に対して、配送を手伝う。

月	利用件数	月	利用件数
4月	8件	10月	11件
5月	10件	11月	5件
6月	7件	12月	14件
7月	11件	1月	3件
8月	7件	2月	9件
9月	8件	3月	11件

v 住民参加型在宅福祉サービス「ささえ愛隊」・・・ 闘

住民が住民を支え合うことを目的に、「ささえ愛隊」を結成。長い間、ささえ愛こんぴらで協議してきたことが実現できた。

○会員数及び隊員数

会員 18名

隊員 16名

○ささえ愛隊連絡会の開催

養成講座修了者から隊員に登録していただいた方たちに、これから「ささえ愛隊」として活動していくための意見交換会を行った。

開催日	内 容	参加者数
令和5年2月27日	今後の活動について 訪問型サービスBについて	10名

○活動実績

主な内容：ゴミ捨て、軽微な草抜き、お墓参りの付き添い、ペットの世話及び散歩、
水道管の簡単な補修等

月	件 数
4月	6件
5月	7件
6月	7件
7月	11件
8月	10件
9月	10件
10月	10件
11月	12件
12月	6件
1月	7件
2月	15件
3月	28件

徐々に利用者数が増えてきた。その背景には、アウトリーチによる訪問でつながった方もいる。様々なニーズに応えられるように柔軟な対応をしている。特にペットの世話は、入院した方のお宅に当番制で餌やりや散歩を行った。近所住民の助け合いの輪の広がりを実感できた。

(2) ふれあいいいききサロンの推進

約半数が、コロナの影響により開催できていない。世話人と訪問や電話連絡をしながら現状を聞くと、コロナに感染してしまったらと思うと、なかなか開催できないと言っていた。アンケートも行ないながら、現状を逐一報告していただいた。その中でも、細々としていたり、世話人がサロン参加者のところに一軒一軒訪問をしているところもあった。

ア、アンケート調査の実施

イ、箇所数 29箇所

ウ、チャリティー収益金よりひだまりクラブ助成金を各クラブに助成した。

助成総額 220,000円

(3) 拠点運営

①ちよつとこ場

○ちよつとこ場ボランティア数 562名

○ちよつとこ場利用者数 令和4年度 2,859名 (R3年度 1,314名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ボランティア数	43	52	50	44	41	44	44	43	50	47	51	53	562
地元	114	89	120	96	134	95	97	98	122	81	90	107	1243
観光客	98	319	45	60	84	52	95	93	148	389	104	129	1616
													2859

- 写経クラブ活動：・NikoNiko 第1、3月曜日 参加者数3名
- ・豊作会 水曜日 参加者数5名
- (運営にも携わってくれた)

- ひだまりクラブ 1サロン活用 なでしこ会(富士見町) 毎月第2月曜日
- スマホ講座 第1第3火曜日
- 琴平まちじゅう図書館 月曜日

②地域福祉拠点「楽集館」

象郷地区の地域福祉拠点として、現在は近隣自治会の集会の場、スポーツ少年団の集まり、ボランティアグループの活動の場、様々な会合の場などに使用されている。

<利用状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体	5	7	6	8	6	8	6	9	7	5	7	10	84
人数	48	70	42	75	53	70	52	112	73	42	81	88	806

③小弘邸

社会福祉士実習の中の地域滞在型実習で、6月に宿泊場所として使用。

④梅ちゃん家

ささえ愛隊の拠点。

(4) 地域包括支援センターの業務

○人員体制 6名

資格	人数
社会福祉士	2名
主任介護支援専門員	1名
保健師	1名
介護支援専門員	1名
介護福祉士	1名

①総合相談

住民の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用に繋げる等の支援を行っている。緊急時には担当者が不在であっても体制を整えている。

総合相談							
月	相談件数	実人数	認知症	月	相談件数	実人数	認知症
			内実人数				内実人数
4月	33	28	1	10月	22	20	1
5月	23	20	2	11月	17	12	0
6月	34	29	1	12月	21	15	0
7月	20	20	1	1月	30	25	2
8月	19	18	0	2月	22	17	0
9月	22	19	1	3月	36	28	0
				合計	299	251	9

②権利擁護

地域の住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは課題やサービス利用に繋がる方法が見つからないなどの困難な状況にある高齢者に対し、地域において尊厳のある生活が維持できるように専門的・継続的な視点から必要な支援を行った。

ア、延相談件数 23件

イ、利用者数 16名

ウ、内容

- ・高齢者虐待対応 3名
- ・成年後見制度に関する事 3名
- ・金銭管理 7名
- ・消費者被害に関する事 2名
- ・その他 1名

エ、成年後見利用促進協議会 毎月開催

③包括的・継続的ケアマネジメント

地域において、多職種相互の協働等により、個々の高齢者の状況に応じて、包括的かつ継続的な支援を推進するため、介護支援専門員の研修を実施し主治医、地域の関係機関等の連携、在宅と施設の連携に取り組んだ。

ア、介護支援専門員向け研修実施

研修日 10月4日 内容 災害における平時の取り組み 参加者数 20名
 3月10日 内容 ハラスメント防止研修 参加者数 10名

イ、琴平町・まんのう町主任介護支援専門員連絡会

開催日 5月10日、11月8日、2月7日

④介護予防マネジメント

町内の給付者件数に大きな増減はないが、新規で委託を依頼するケースでは毎回委託先に苦慮している。介護保険制度改正で委託を推進しているが、成果は上がっていない。

	介護予防ケアマネジメント		包括的・継続的ケアマネジメント支援業務				包括的支援事業			
	予防給付	総合事業	関係機関からの相談		関係機関との連絡会等の開催		地域ケア会議の開催		認知症初期集中支援チーム	
	実人数	実人数	相談件数	実人数	主催	参加	主催	参加	訪問	会議
4月	96	18	0	0		1				1
5月	101	15	3	3		0				
6月	105	13	1	1		0				
7月	105	15	1	1		2				
8月	105	14	0	0		0		2		
9月	105	15	1	1		0	2			
10月	105	17	0	0		2				
11月	105	16	0	0		1	2			
12月	106	15	1	1		0				
1月	105	15	0	0		1	1			
2月	101	15	0	0		0				
3月	98	18	4	3		1	2			1
合計	1237	186	11	10	0	8	7	2	0	2

⑤一般介護予防事業

i 介護予防普及啓発事業

ア、健康太極拳

足腰の筋力・バランス力を高めることを目的とし、太極拳講師により実施
毎月1回開催

実施回数 12回

場 所 総合センター

参加者数 実人数9名、延人数47名

イ、脳力向上 頭のげんき塾

ストレッチ、指体操、ゲーム、介護予防に関する講義等、包括職員により実施
毎月1回開催

実施回数 8回

場 所 総合センター

参加者数 実人数17名、延人数110名

ウ、出張頭のげんき塾

開催日 10月18日 ゆうあいの家 なごみ会

エ、こんぴらすこぶる元気塾

健康運動指導士、歯科衛生士と包括職員で運動機能・口腔機能向上につながる
教室を実施

ii 介護予防講演会

第1回 開催日 令和4年8月23日(火)

テーマ 「よりよい聴こえのためにできること」

- 講師 やまもと耳鼻咽喉科 医師 山本眞美氏
 参加者 41名
- 第2回 開催日 令和5年2月9日(木)
 テーマ 「体験！認知症予防のコグニサイズ」
 講師 四国医療専門学校 作業療法学科 西川 洋氏
 参加者 24名

⑥地域介護予防活動支援事業

i 介護予防自主活動

- ア、からだらくらく体操同好会
 開催回数 43回 登録者数 27名
- イ、こんぴらまちかど体操同好会
 開催回数 21回 登録者数 31名
- ウ、ほんわかヤング
 開催回数 22回 登録者数 15名

ii 介護予防サポーター活動

自主活動グループのリーダー等の活動支援として、介護予防サポーター連絡会、活動状況調査・希望調査の実施、地域での見守りや介護予防事業への参加などを個別に声掛け実施。

	回数	延人員
こんぴらすこぶる元気塾	2回	4名
脳力向上頭のげんき塾	8回	23名
介護予防講演会	2回	14名
認知症予防講演会	1回	9名
認知症カフェ	23回	63名
菜の会	11回	10名
はなの会	11回	28名
ささえ愛隊	31回	24名

⑦認知症総合支援事業

i 認知症キャラバンメイト連絡会

琴平町認知症キャラバンメイトと共に認知症サポーター養成講座の内容や啓発活動について検討を行った。

開催日：令和4年11月14日(月)

参加者：3名

ii 認知症サポーター、キッズサポーター養成講座

開催日	受講者	開催場所	参加者数
12/9	琴平小学校6年生	琴平小学校	17名
12/12	榎井小学校6年生	榎井小学校	19名
12/16	象郷小学校6年生	象郷小学校	16名

iii 認知症キャラバンメイト連絡会

開催日 11月14日 参加者 3名

iv 認知症カフェ

認知症家族からの要望により、家族のみの参加と認知症当事者の参加日を分けて開催した。認知症家族の会では、町内の訪問看護事業による認知症をテーマにした勉強会などを実施。認知症当事者に毎回音読の活動を継続的に実施した。

実施場所：楽集館

家族会		当事者含	
開催日	参加者数	開催日	参加者数
4/19	8名	4/27	7名
5/17	8名	5/25	7名
6/21	5名	6/29	5名
7/19	中止 名	7/27	3名
8/16	6名	8/24	5名
9/20	4名	9/28	7名
10/18	9名	10/26	7名
11/15	7名	11/30	13名
12/20	9名	12/28	7名
1/17	8名	1/25	8名
2/21	9名	2/15	4名
3/7	9名	3/15	11名

iv 認知症予防講演会

開催日 令和4年9月1日（木）

場 所 琴平町総合センター大ホール

内 容 「もの忘れ・認知症との付き合い方」

講 師 大浦内科消化器科医院 医師 大浦正博氏

参加者 44名

v 認知症初期集中支援チーム

支援チーム相談・対応件数	1 件
チーム員会議開催回数	2 回
サポート医訪問回数	0 回
チーム員訪問回数 紹介訪問	1 回
継続訪問	5 0 回
支援終結件数	1 件

※上記以外で支援終結後も、家族、担当ケアマネからの相談に応じ、対応を実施

⑧在宅医療介護連携推進事業

第1回

開催日 令和4年11月30日

テーマ 「人生の最終段階における医療・介護の支援のあり方について

それぞれの専門職の立場から考える」

第2回

開催日 令和5年3月8日

テーマ その人らしい最期を迎えるために ～自宅での看取りから考える～」

⑨地域ケア会議

9月開催では、事例対象者の家族参加を得て開催した。しかし会議本来の目的である、地域の課題や新しいサービスの構築などが今後の課題と考える。

実施日	種別	参加人数	内容
9月8日	個別事例	14名	認知症対応で地域の理解を求める
	自立支援	16名	パーキンソンがあるが家事を続けたい
11月17日	個別事例	14名	自由奔放でサービス利用に繋がらない
	自立支援	14名	友人の存在がサービス利用の障害に
1月10日	個別事例	10名	頼れるキーパーソンの不在
3月16日	個別事例	14名	認知症があり、将来の在宅生活に不安
	個別事例	15名	寝たきりの独居生活で今後の生活に不安

(5) 香川おもいやりネットワーク事業参画法人としての取り組み

①法人間連携協議会への参加

i 参加法人

- ・正友会 ・鶴足津福社会 かりん園 ・まんのう町社会福祉協議会
- ・琴平町社会福祉協議会

i-b フードバンクへの協力

正友会が年2回フードドライブを行い、食品をフードバンクに寄付してくれた。

ii 支援・・・(P22 参照)

(6) 住民の地域活動の推進

①プラットフォーム関係団体支援

グループ名	内 容
415のわ	<p>目的：琴平で暮らす子どもたちが絵本にふれあうことにより健全な心を育み創造性あふれる子どもに育ててほしいという思いで「絵本文庫どり～む」の運営とお話会を中心に活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○絵本文庫どり～む運営 ○定例会の開催（毎月1回） ○お話会の開催（毎月第3日曜日） <p>新型コロナウイルスの影響により、お話会は数回しか開催できなかった。ほとんどは本の貸出しのみの開館とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英語のお話会開催（毎月第1日曜日） <p>新型コロナウイルスの影響により、開催していない。</p>
まちじゅう図書館	<p>目的：図書館のない琴平のまちで、子どもたちが気軽に本にふれあえる環境を作り、豊かな心を育むことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会報の作成 町内全戸配布 11月 ○定例会の開催（毎月開催） ○役員会の開催（不定期） ○本箱設置の募集
K ³	<p>目的：子どもたちが安心して遊び、学ぶことができるような環境づくりを目的に活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定例会の開催 計 12回開催 <p>宿題大作戦（夏休み）</p> <p>日時：7月27日</p> <p>場所：琴平町総合センター大ホール</p> <p>内容：子どもたちに安心して宿題ができる環境を作り、子どもたちの交流を図ろうと企画</p> <p>参加者：33名</p> <p>キッズことリンピック（冬休み）</p> <p>日時：令和5年1月6日</p> <p>会場：琴平小学校</p> <p>内容：町内3小学校の子どもたちの交流を図ることを目的に開催</p> <p>参加者：75人</p> <p>k³と遊ぼう（春休み）</p> <p>日時：令和5年3月27日</p> <p>場所：琴平小学校</p> <p>内容：3小学校の子どもたちの交流を目的に開催</p> <p>参加者：89名</p>

	こんびらわくわくクラブ 琴平ロータリークラブから助成を受け、子どもたちの学びを提供 11/26 金倉川を知ろう！ 参加者数 子6名 大8人 12/17 外来種って悪者？ 参加者数 子6名 大6名 R5.1/21 川とはなんぞや？ 参加者数 子5名 大9名 2/25 まとめ 参加者数 子6名 大10名 3/21 活動発表展示会、こんびらカルタ大会 参加者数 40名
ウォークアミーガ	目的：町の魅力を発見しながら健康づくりの一環でウォーキングを中心に活動 ○毎月第2、第4月曜日にちよつとこ場から出発

2. 福祉教育・ボランティア学習

(1) 住民による活動推進のための学習会、研修の開催

①第19回四国地域福祉実践セミナーin 今治

※オンライン参加 6名

②地域福祉を考える住民大会 —第37回琴平町社会福祉大会—

日 時 令和5年2月11日(土) 午前10時00分～12時00分

場 所 琴平町文化会館

テ ー マ 『地域共生社会って何？～地域のつながりづくり～』

講 演 講師：全国地域福祉推進委員会 委員長

琴平町社会福祉福祉協議会 会長 越智和子

参加者数 98名

(2) 福祉教育推進体制の整備

①福祉協力校活動への協力

学校名	活 動	内 容
琴平小学校	・共同募金協力	福祉教育
榎井小学校	・琴平町の福祉(6年生) 7/5 ・福祉体験(6年生) 11/9,16 ・共同募金協力	福祉教育
象郷小学校	・琴平町の福祉(6年生) 9/9 ・福祉体験 9/9 ・共同募金協力	福祉教育
琴平中学校	・福祉体験(1年生) 9/2 ・お節配り体験 12/30 17名 20食 配食 ・共同募金協力(ベンチ製作)	社会参加活動 福祉教育
琴平高校	・3年5組への福祉についての授業	福祉教育

○地域福祉についての授業

香川県立丸亀城西高等学校 1/17

香川県立琴平高等学校 11/8

(3) 実習及び養成研修受入

受入内容	人数	所属	備考
社会福祉士現場実習	6	川崎医療福祉大学、四国学院大学 新見公立大学	川崎医療福祉大学、新見公立大学は宿泊実習

※介護福祉士の現場実習は、新型コロナウイルスの影響により、中止となった。

3. 各行事の開催

(1) 住民・ボランティア交流事業「ふれあいデー」

開催日 7月22日(金) 18時00分～19時00分

内容 芦原すなお氏及びロックンロールフォースメンによるバンド演奏

バザーはおにぎりセット、サンドイッチ、飲み物の販売のみを予約制で実施

(2) 第48回チャリティー作品即売展 主催：チャリティー作品即売展実行委員会

・監査の実施 5月17日

・実行委員会 9月13日、10月4日、31日、11月15日

・開催日 12月3日(土) 4日(日)

延ボランティア数 362名

※新型コロナウイルス感染症対策として、飲食は原則禁止にした。

○決算報告

ア、収入の部

(単位：円)

1、総売上額	1,360,866
2、広告料	531,000
3、寄付金(チャリティー募金)	30,532
4、チャリティー協賛金	20,000
5、募金箱	1,500
6、受取利息	4
収入合計	1,943,902

イ、支出の部

(単位：円)

1、材料費	331,185
2、事業実施経費	628,224
支出合計	959,409

ウ、収益金

1,943,902 - 959,409 = 984,493 円

エ、配分活動 621,645 円

準要保護家庭、老人福祉、子どもたちへのクリスマスプレゼント、ひだまりクラブに配分

4. 関係機関・団体との連携と協力

①民生児童委員協議会との連携・協働

民生児童委員協議会で下記の通り説明及び依頼等を行った。

5月 社協事業について

9月 「共同募金」依頼

10月 共同募金運動の実施

11月 チャリティー募金依頼、共同募金送金報告

②これからの地域福祉を考える意見交換会の開催

開催日：令和4年6月10日（金）15：30～17：00

参加者：各婦人会、食生活改善推進協議会、琴平町母子愛育会、

③関係機関との連携・協力先

- ・香川県内市町社会福祉協議会連絡協議会
- ・ねむ工房事業支援と連絡調整
- ・コスモスの家運営委員会（Csクリエーション）
- ・障害者生活支援センターふらっと
- ・中讃西部地域自立支援協議会
- ・香川コミュニティ・ソーシャルワーク実践研究会
- ・地域運営推進協議会（グループホームこんびら）
- ・香川後見ネットワーク運営協議会
- ・特定非営利活動法人かがわ後見ネット
- ・香川県共同募金会
- ・特定非営利活動法人香川フードバンク
- ・香川おもいやりネットワーク
- ・全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会
- ・全国包括・在介センター協議会
- ・全国食支援活動協力会

5. 相談支援・権利擁護

（1）各種相談

①相談受付	法律相談（月1回）	12日	53件
②相談員業務	一般相談（高齢者）	39件	
③障害者相談	件数 延 894件（内訳）	精神障害者	723件
		身体障害者	27件
		知的障害者	144件

(2) 相談対応実績

様々な相談を総合的に職員がその人に必要な支援方法を一緒に考え、主に下記の相談支援事業に繋げ、寄り添った支援の展開。

事業名	相談件数及び利用者数	支援実績
生活福祉資金貸付事業 (※特例貸付含)	相談件数 83件	緊急小口資金 0件 教育支援資金 0件 特例緊急小口 11件 特例総合支援資金 7件
	主に特例貸付となっており、本則の貸付は相談はあったが、貸付けにならなかった。9月末に終了した特例貸付の再度の貸付希望もあった。	
生活困窮者自立支援事業	新規相談 12件 プラン件数 4件	新規プラン作成 0件 電話・相談 延449件 訪問・同行 延163件 面談 延312件
	法テラス自己破産申立 2件 町外へ引っ越しの為プラン終結 2件 特例貸付猶予相談 5名	
日常生活自立支援事業	相談援助件数 959件	成年後見制度利用対象の方が移行できず、本事業を利用されているため、支援の回数が実情は多い。生活保護ワーカーからの相談にて契約となったケースが比較的多く、困難な実例が多かった。利用者家族の援助を受けれる方が少なく、支援しなければならないことが多かった。
成年後見事業	被後見人 1名 被保佐人 3名 被補助人 2名 身上監護 1名 終了者 0名	支援件数 71件
香川おもいやりネットワーク事業	相談件数 220名 (内新規2名)	現物給付 17件 入居債務保証 5件 (内新規1件) フードバンク 95件
	フードバンクは再度の利用が多く、新規はあまりなかった。現物給付も根本的な課題が解決していない方があり、繰り返しの利用となっている。	
日常的金銭管理等支援サービス	利用者数 13名	支援件数 118件

※特例貸付とは、新型コロナウイルスの影響によって収入が減った世帯や失職した世帯を対象に行う貸付

④相談支援関連研修会への参加

研修日	内容
5/20、6/16 8/23、11/17 2/16、3/10	生活福祉資金、日常生活自立支援事業、生活困窮者自立支援相談員合同研修
6/6、7/26 8/23、3/2	香川県生活困窮者自立支援協議会連絡会
6/29	令和4年度第1回権利擁護中核機関等連絡会議
7/8	香川おもいやりネットワーク事業全体研修会
8/31	成年後見制度市長申し立てに係る研修
9/28	生活困窮者支援体制整備連絡会
10/25	特例貸付の借受世帯を含む生活困窮者支援に関する担当者会議
2/28	令和4年度市町社協権利擁護担当者会議
3/7	意思決定支援セミナー
3/10	緊急小口資金等特例貸付における市町社協担当者会
3/15	令和4年度日常生活自立支援事業生活支援員ブロック別研修会

⑤香川県新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化事業

フライドガーリック作業…圃 (P32に再掲)

働く場を失い、働くことに戸惑っている方、働きたくても一歩踏み出せない方等を対象に、声掛けを行いながら従事してもらっている。この場が次へのステップの場としての中間就労的な役割を持つ。

○従事者 5名

○内容

・粉砕 ・振るい掛け ・袋詰め ・箱詰め

振るい掛けを行ったものは粗目と細目に分けられる。主に粗目300gを袋詰め、細目は新商品開発等に充てていく。

Ⅲ、介護・生活支援サービス

1. 在宅福祉サービス及び生活支援サービス事業

(1) 地域生活支援事業(独自事業)

①えんがわクラブ 延139名

②特別生活サービス 延86.5時間(制度外の生活支援サービス)

③福祉機器等貸出し事業

「ねたきり予防」「在宅介護支援」等の視点で介護機器の貸し出しを行った。

種別	件数
老人車	0
車椅子	27
歩行器	6

④移送サービスの実施

- ・福祉車両の運行 利用回数 12回
利用目的 病院の通院、入退院、病院の外出、緊急対応、墓参

(2) 住民参加型サービス

①調理ボランティア（食生活改善推進協議会他）

毎週火・水・木曜日（12月29日～1月3日は休み） 154日
調理ボランティア数 延 300名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	26	26	27	22	28	25	24	26	22	22	24	28	300
日数	12	13	14	12	14	13	12	14	12	12	12	14	154

②食事サービス

生活支援型の配食事業として、町から受託している配食サービス事業の基準に達しない人に対し、ケア会議で必要と判断される場合に配食を行う。また、夕食も柔軟に対応している。

i 令和4年度実績 (食数)

月	会食			生きがいデイ 参加者	写経クラブ	夕食		合計
	会食	弁当	おかず			弁当	おかず	
4月	70	80	71	20		147	96	484
5月	77	78	75	18		132	104	484
6月	78	83	69	21		132	94	477
7月	36	85	74	10		131	106	442
8月	67	74	58	19		132	111	461
9月	55	69	45	19		130	110	428
10月	73	75	43	22		126	105	444
11月	86	79	50	20		137	108	480
12月	72	64	47	19		122	88	412
1月	68	80	56	17		117	87	425
2月	65	70	35	13	19	105	75	382
3月	82	83	50	31	23	90	88	447
合計	829	920	673	229	42	1501	1172	5,366

※配食サービスは下記「P26（4）受託運営事業」に記述

(3) しゃんとせな事業（ボランティアコーナー事業）

①支援事業（資材の貸出）

品目	回数	品目	回数	品目	回数
テント		サンタクロース		わたがし機	3
スクリーン	3	疑似体験セット		パレット	1
マイクセット	1	三角巾		プロジェクター	2
エプロン		臼と杵		ホットプレート	
ブルーシート		マイクセット		かき氷機	
たこ焼き台		ポップコーン		発電機	
机	1	折りたたみ椅子	1		

②感染対策機器材貸出

品目	回数
バクテクター	2
アクリル板	
非接触型体温計	1

③ふれあい弁当活動

各地区婦人会等の協力により実施

対象：独居高齢者及び高齢者世帯で見守り・声掛けを実施している方

琴平地区：約 300 食の配食 3/2,3

榎井地区：約 130 食の配食 2/19

五條地区：約 80 食の配食 3/18

象郷地区：約 60 食の配食 3/25

※五條地区は、五條あゆみ会が解散したため有志で配布。

④古切手、使用済みテレホンカード等収集協力

- ・古切手及び使用済みテレホンカード 個人 延 11名
団体（事業所）延 20団体
- ・入歯リサイクル 1件

⑤環境整備・町づくり（季節ごとの花の植え替え、及び草抜き、水やり等管理）

西山花壇：西山地区各自治会

(4) 受託運営事業

①配食サービス

一人暮らし、高齢者世帯などで調理が困難な者に対して、栄養のバランスのとれた食事を配達することによって、自立と生活の質の確保及び身体的・精神的な負担の軽減を図る。

②生きがい対応型デイサービス

琴平町に居住する者であって、かつひとり暮らし老人等で家に閉じこもりがちな、おおむね 60 歳以上の在宅の虚弱老人等に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、当該高齢者の生活の助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的精神的な負担の軽減を図る。

③生活管理指導員派遣事業

琴平町に住所を有するおおむね 65 歳以上の者で介護保険に該当しない人等への、日常生活に関する支援・指導等を行うために生活管理指導員の派遣を行う。

④軽度生活援助員派遣事業

琴平町に住所を有するおおむね 65 歳以上のひとり暮らし世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者であって、入院時等での援助を行うために、生活援助員の派遣を行う。

⑤介護予防事業

琴平町に住所を有するおおむね 65 歳以上のひとり暮らし世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者やその家族に対し、できる限り介護状態に陥ることなく健康で生き生きとした生活を送れるように支援する観点から、開催している。

< 受託事業実績 >

単位：円

事業名	月	基準	月												合計	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①配食サービス事業	委託料	食数	714,700	742,000	718,200	716,800	769,300	717,500	655,200	700,700	620,900	574,000	562,100	630,700	8,122,100	※
		1食700円	1,021	1,060	1,026	1,024	1,099	1,025	936	1,001	887	820	803	901	11,603	
②生きがいデイサービス	委託料	人数	82,000	78,000	80,000	24,000	80,000	94,000	84,000	84,000	94,000	66,000	76,000	112,000	954,000	※
		1人2,000円	41	39	40	12	40	47	42	42	47	33	38	56	477	
③生活管理指導	委託料	時間数	106,000	106,000	112,000	76,000	102,000	104,000	92,000	106,000	100,000	102,000	106,000	120,000	1,232,000	※
		1時間2000円	53.0	53.0	56.0	38.0	51.0	52.0	46.0	53.0	50.0	51.0	53.0	60.0	616.0	
④軽度生活支援	委託料	時間数	0	0	7,000	1,000	0	2,000	8,000	3,000	0	0	1,000	2,000	24,000	※
		1時間1,000円			7	1		2	8	3			1	2	24	
⑤介護予防	委託料	回数	0	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	0	0	0	0	180,000	
		1回30,000円		1	1	1	1	1	1	1					6	
合計			902,700	956,000	947,200	847,800	981,300	947,500	869,200	893,700	814,900	742,000	745,100	864,700	10,512,100	

注 ※総額で内 5,005,300 円は利用者から実費として徴収し、町に納入している。

2. 介護・障害福祉サービス

(1) 介護保険事業

令和 4 年度もコロナの影響を多大に受けた。利用者の陽性者、サービス事業所の休止、職員の陽性者が出るなどしたなか、利用者の調整と事業所内の事業継続にエネルギーを費やした。入退院における病院との連携も制限がある中、可能な限り取り組んだ。また、介護保険サービスのみで囚われることなく生活全般の困りごと視点から他制度（他事業）に繋ぐ等インフォーマルをも意識して支援を行った。

①居宅介護支援事業利用件数 (件)

月	居宅介護支援		月	居宅介護支援	
	実人数	新規		実人数	新規
4	61		10	58	
5	58	1	11	57	2
6	57		12	57	1
7	56	1	1	55	3
8	55	1	2	57	3
9	59	4	3	56	1
			合計	346	7
			1カ月平均	58	2

②研修

○居宅介護支援研修

研修日	内 容
毎月開催	業務改善会議
4/22	「高齢者虐待防止の推進」 オンライン
5/10、8/2、11/8、2/7	琴平町・まんのう町主任介護支援専門員連絡会
6/15	「介護事業所のための BCP 策定セミナー」 オンライン
6/14、10/14	中讃地域の主任 CM 連絡勉強会 オンライン
8/17,24、9/2,10	主任介護支援専門員更新研修 (法定)
10/4	第 1 回琴平町介護支援専門員連絡会
10/16	資質向上研修／アセスメント強化研修 オンライン
10/22,28 11/3,5,12,17,24,30 12/7	主任介護支援専門員研修
11/7	「介護保険改正動向」 オンライン
11/22	「適切なケアマネジメント」 オンライン 第 17 回地域連携懇談会
11/30、3/8	仲多度南部在宅医療・介護連携推進会議
1/16	雇用管理改善セミナー「職場や介護現場のハラスメント (パワハラやカスハラ等)」 への対策 オンライン
2/7、3/21,25,26	地域づくり加速化事業全国研修 オンライン
2/15	「事例から学ぶ成年後見制度」 オンライン
2/22	「介護事業者のための BCP 作成セミナー」 オンライン
3/10	琴平町介護支援専門員連絡会
3/16～	「適切なケアマネジメント手法」 配信

③居宅介護支援利用者へのアンケートの実施

利用者に対して業務改善に向けたアンケートの実施

配布数 76部 回収数 48部 回収率 63.2%

④訪問介護支援事業

7月はヘルパーのコロナ感染により、一部訪問時間の変更、中止などせざるを得ない状況になった。業務上、密接になることが避けられない中で、どのような感染予防ができるかを話し合い、マスク、手袋、予防着の着用やうがい手洗いの徹底、消毒液の持ち歩き、ヘルパー室での待機時間を減らすなど対策することで7月以降の業務を通常に近い形で続けることができた。

新規の申し込みは、若干時間調整をお願いしなくてはならなかったが、新規依頼を断ることなくどのようにしたら訪問できるのかを考えながらヘルパーの協力もあり、受け入れることができた。

○利用件数

月	訪問介護			月	訪問介護		
	実人数	延人数	新規		実人数	延人数	新規
4	26	554	0	10	27	515	0
5	29	575	2	11	25	455	0
6	29	574	1	12	25	507	0
7	27	575	1	1	24	506	0
8	29	531	3	2	25	464	1
9	28	603	0	3	26	517	1
合計					168	3412	7
1カ月平均					28	569	1

⑤業務会・研修会

<業務会>

開催日	内 容
4/22	・業務の注意事項の確認 ・在職老齢年金制度変更について
5/27	・訪問介護でできること、できないこと ・介護保険制度と記録について
6/24	・ご利用者様への声掛け、誘導について ・熱中症対策について
9/20	・介護技術と日常の支援で困っていることについて話し合い
10/26	・旬の食材とメリットについて ・高齢者向けのメニューについて
12/14	・冬に流行する感染症について ・発熱時の対応について
R5.2/8	・ご利用者様に対しての接遇、マナーについて ・生活援助と身体介護それぞれの役割について
3/13	・1年間の反省点についての話し合い ・コロナ感染拡大防止の一部変更について

(2) 障害者福祉サービス

移動支援では、支援ができないこの時期に余暇活動をしなないといけないのか等の意見も多々ありながら、楽しみがあるから作業所の仕事が頑張れたり、息抜き、気分転換することで、日常生活が円滑に回る等、その人の生活を見た時に必要な支援だったのでどのように継続していくかを考えながら支援したと思います。

毎年冬場には、入院者が増えヘルパーの時間が確保できることを利用し、余暇活動を充

実させ、無駄のない稼働を実施するようしてきた。

①指定特定相談支援事業 利用者数 14名

②活動状況

月	居宅介護					特定相談支援		
	訪問介護		移動支援		新規	相談件数	計画 (実人数)	新規
	実人数	延人数	実人数	延人数				
4	14	156	10	56	1	20	0	0
5	16	153	8	50	0	22	0	0
6	16	152	8	51	0	20	3	0
7	16	120	7	35	0	39	2	0
8	15	151	7	42	0	35	0	0
9	15	134	8	47	0	17	1	0
10	14	149	8	50	0	25	1	0
11	14	146	8	52	0	24	2	0
12	14	142	7	43	0	20	1	0
1	14	118	8	47	0	32	1	0
2	13	88	8	42	0	32	0	0
3	14	98	11	56	3	31	2	2
合計	175	1607	98	571	4	317	13	2
1力月平均	15	134	8	48	0	26	1	0

③研修会への参加・協力

研修日	内容
4/11、5/9、6/13、8/8、9/12 10/11、11/14、1/10、2/13 3/13	相談支援連絡会／事例検討会
5/14、7/15、9/16、11/18 1/20、3/14	自立支援協議会
6/23、9/22、	精神保健福祉部会
12/12	障害者虐待防止研修
2/14	中讃圏域精神保健ネットワーク会議

IV、共同募金運動

10月1日から全国一斉に募金運動が展開される。募金運動の開始前からの広報活動に始まり、期間中に住民、法人等の様々な協力を得て募金活動を行った。また、地域で活動する助成団体や行政だけでなく、多様な機関等との連携・協働により「じぶんの町を良くする」活動を展開した。

コロナの影響により、街頭募金ができなく、目標額まで届かなかった。しかし、香川県立琴平高等学校の協力により、文化祭時に募金活動を行ってくれた。さらにこんぴら朝市の時に街頭募金を行い、募金活動を進めた。

①募金活動

募金総額 2,423,395 円 (目標額 2,749,000 円)

<内訳>

種別	件数 (件)	金額 (円)	備考
戸別募金	2036	1,713,600	
街頭募金		45,011	
法人募金	44	216,600	内 12,600 円は県共募に直接募金
学校募金	7	44,547	
職域募金	19	229,000	
イベント募金		0	
個人募金	25	64,200	
その他		110,437	内自販機収入 32,698 円は直接県共募へ
総 額		2,423,395	

②運営委員会、審査会、監事による監査の実施

令和4年5月16日	監 査	地域福祉ステーション
令和3年度共同募金事業及び会計監査		
令和4年5月30日	審査委員会	地域福祉ステーション
令和4年度募金（令和5年度事業）申請事業審査		
令和4年6月3日	第1回運営委員会	地域福祉ステーション
<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会会長・副会長選任 ・令和3年度共同募金活動報告 ・令和3年度共同募金実績報告 ・令和3年度監査報告 ・令和4年度事業計画、推進計画 		
令和4年9月14日	第2回運営委員会	地域福祉ステーション
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度共同募金推進計画について ・令和4年度琴平町共同募金活動の流れ ・街頭募金運動について 		
令和5年3月20日	第3回運営委員会	地域福祉ステーション
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度活動実績報告 ・年内スケジュールについて 		

③啓発活動

- ・町内施設へのポスター配布
- ・チラシ全戸配布
- ・ホームページ開設
- ・SNS（インスタグラム）の活用
- ・広報紙に掲載
- ・新規法人開拓
- ・ガチャガチャ設置

観光協会の協力を得、ガチャガチャの設置、ポスターの設置がスムーズにできた。しかし、自治会加入世帯の減少により、戸別募金は減少している。さらに地域活動の活発化により、申請団体が増えている。集まった募金額が申請額に届かずに減額しての配分となっている。

・ホテル・旅館フロントでの募金箱の設置協力

④街頭募金運動の実施

○実施日 令和4年9月25日（日）～令和4年12月25日（日）

場 所 一之橋公園

○実施日 令和4年9月9日（金）～令和4年9月10日（土）

場 所 香川県立琴平高等学校 文化祭

⑤助成活動 24団体 28事業へ助成 助成総額 1,923,885 円

<配分団体別事業一覧>

No.	団体名	事業名	配分
1	琴平町社会福祉協議会	毎日型食事サービス事業	¥1,062,885
2	琴平町社会福祉協議会	ふれあい弁当事業	
3	琴平町社会福祉協議会	地域福祉推進事業	
4	琴平町社会福祉協議会	町づくり事業	
5	阿波町北連合自治会	自主防災事業	¥861,000
6	阿波町北連合自治会	地域福祉事業	
7	高藪下組自治会	高藪下組自治会防災活動	
8	南旗岡町内自衛防災隊	南旗岡町内自衛防災隊炊き出し訓練	
9	南口自主防災会	防災訓練事業	
10	こんぴらアイネット	地域活動支援事業	
11	琴平婦人会	地域福祉事業	
12	榎井婦人会	地域福祉活動事業	
13	食生活改善推進協議会	かがわの食文化事業	
14	とらすとK	神戸に手紙を書く会	
15	阿波町上防災会	阿波町上防災訓練	
16	小松町防災クラブ	防災訓練事業	
17	老人クラブ連合会	地域福祉活動支援事業	
18	「社会を明るくする運動」仲多度地区推進委員会	「社会を明るくする運動」7月強調月間広報活動の出発式とメッセージの伝達式、街頭宣伝、公開ケース研究会	
19	415のわ	子ども読書活動推進事業	
20	K ³	子育て教育を考える会事業	
21	榎井ハッピーネット	第5回榎の木フェスタ	
22	ボランティア連絡会議	異世代交流事業	
23	母子愛育会	地域親子ふれ合い活動	
24	象郷婦人会	独居老人おせちづくり	
25	象郷校区みまもりネット	象郷校区みまもり活動	
26	琴平に図書館を作る町民会議	琴平町に図書館を作る！	
27	ことひらまちじゅう図書館	ことひらまちじゅう図書館プロジェクト	
28	こんぴら朝市実行委員会	地域活動支援事業	
合計			¥1,923,885

○町づくり事業内訳

助成団体	内 容
琴平中学校	ベンチ製作

⑦事務局長会議及び担当者会議への出席

V、収益事業

1、特産品（ガリック娘）の販売・促進

①令和4年度実績 **売上金額 2,554,973 円**（R3年度 2,470,790円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
183g	90	81	158	176	189	177	153	139	270	253	185	260	2,131本
金額	99,500	93,260	176,868	214,104	224,445	199,054	177,686	158,672	303,138	298,868	216,457	293,321	2,455,373円
900g	2	0	2	2	7	2	1	0	4	1	1	8	30本
金額	6,700	0	6,700	6,700	24,500	6,700	3,200	0	12,800	3,200	3,500	25,600	99,600円
金額合計	106,200	93,260	183,568	220,804	248,945	205,754	180,886	158,672	315,938	302,068	219,957	318,921	2,554,973円

・町内販売店舗数 16店舗 ・町外販売店舗数 7店舗

（その他、社協 HP 上からのインターネット販売も実施）

②広報活動

③農商工連携会議

ガリック娘の作業工程で出るニンニクを廃棄していたが、商品化できるかの打ち合わせを行い、フライドガーリックの作業が立ち上がった。

協議体：・宝食品 ・岡田工業 ・生産者 ・社協

開催日：7月7日、7月21日、8月5日、9月14日、10月11日、

11月15日、11月18日、12月12日、2月16日、3月16日

○フライドガーリック作業

働きたくても働けない方や働くことに一歩踏み出せない方、職員の声掛けによりこの作業に参加する方等様々な理由を抱えている方が、一歩踏み出せる場として開始。

令和5年2月から毎週火・木に作業

・従事者 5名

・内 容 粉碎→振るい掛け→袋詰め→箱詰め

VI、公益事業

1、地域生活総合支援サービス

その人にあった必要なサービスを提供すると共に、住民活動や住民によるサービスなどインフォーマルサービスとフォーマルサービスをつないでコーディネートすることにより生活を総合的に最期まで支援する。

①利用契約 9名

本年度は、死後の対応や緊急の対応などはほぼ見られなかった。月に一度は訪問し、状況の確認を行っている。

②支援実績

支援内容	実支援
見守り	185 件
生活支援	112 件
入退院支援	4 件
葬儀供養	0 件
死後対応事務	0 件
支払い	39 件
受診同行	15 件
その他	17 件

2、まちのキッチン「もぐもぐ」の運営

①開店日 : 月～金 10時～16時

・毎月24日を「もぐもぐの日」として設定し、割引チケットを配布した。

②売上 **6,016,182 円** 総来客数 9,366 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
総来客数(人)	859	761	847	709	770	757	784	892	708	714	742	823	9,366
一日平均(人)	41	40	39	34	35	34	37	41	37	36	37	36	
売上額(円)	509,769	528,487	549,279	453,189	480,425	486,993	546,729	531,502	452,166	466,273	496,465	514,905	6,016,182